福祉たすけあい基金BOOK

11 期・12 期の助成団体紹介









目次

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金は 3
福祉たすけあい基金とは
【第 11 期福祉たすけあい基金(第 4 期スタート助成)助成団体】
NPO 法人ファミリア ····· 7
ぱくぱく食堂(2回目申請)8
ら・ぱれっと(2回目申請) 9
NPO 法人みんなの居場所よこすか 10
ひだまりの家プロジェクト 11
つばき学習会(2 回目申請) 12
NPO 法人ワーカーズ・コレクティブメロディー 13
NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ ······ 14
ワーカーズ・コレクティブびすけっと (2回目申請) 15
NPO 法人法人結の樹よってけし(2 回目申請)16
さくらの森・親子サポートネット17
本もく座 (3 回目申請)
NPO 法人い一ぷらす (3 回目申請)19
ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in 横浜 (3回目申請) 20
【第 12 期福祉たすけあい基金助成団体】
特例認定 NPO 法人くるみ-来未 22
横浜みどりの学校ひまわり 23
福島の親子とともに・平塚24
NPO 法人ぜんしん
あすのち
NPO 法人湘南市民メディアネットワーク 27
一般社団法人 OHANA···································
サーフ・リレイションシップ活動団体 AONOWA ·························29
PD Place
認定 NPO 法人エンパワメントかながわ 31
女性のための緊急夜間一時避難所「ラ・シールド横須賀」 32
財団を応援する「賛助会員」募集と「福祉たすけあい基金」への寄付のお願い33

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金は…

◆成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合 (1971 年創立) は、90 年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990 年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関は無いため、自前の財源による市民バンク(「女性・市民コミュニティバンク」の前身)をつくり、1998 年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は 2003 年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいにかかわる市民の福祉活動・非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の 10 年間の助成活動の実践を経て、2013 年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団かながわ生き活き市民基金」を設立しました。

◆ミッション

<投資して利潤を稼ぐことが経済>という考えが現代社会に蔓延しています。つまるところ、 人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。しかし一方で、豊かな生活をつくることが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。 人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平 和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きに くい社会になっています。

かながわ生き活き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆基金の事業・活動

かながわ生き活き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を 通じた市民活動・事業への支援です。現在3つの助成プログラムを行っています。

福祉たすけあい基金(2015 年度から通常型助成とスタート助成を実施)は、意思ある生活クラブ組合員 1 万 1 千人の月 100 円寄付を基本財源とした助成プログラムです。事業指定助成プログラム「エラベル」は、登録した団体が寄付募集活動を行い、財団はこれを支援します。オーダーメイドプログラム(2015 年助成の「子どもいきいき助成」)は寄付拠出者が助成プログラムを指定します。

助成事業以外には、講座事業、ネットワーク事業などを行っています。

福祉たすけあい基金とは

福祉たすけあい基金はこれからの地域社会をつくっていくために、市民自らが福祉活動の主体となっていくこと、そしてその基盤となる市民同士がたすけあう関係を育て、地域を豊かにしていくことをめざして生み出しました。かながわ生き活き市民基金の助成事業の一つに留まらず、かながわ生き活き市民基金を支える基金です。福祉は人々の生活そのものと言ってもよく、福祉たすけあい基金では高齢者、子ども、女性、外国人、障がい者など様々な弱い立場の人々を支援する活動に助成しています。

◎ 福祉たすけあい基金の特徴 ~ 1万人に支持される基金~

福祉たすけあい基金は市民一人ひとりから毎月(毎年)寄付を集め、おおぜいの力でまとまった額の基金を創りだしているのが特徴です。98%以上にあたる寄付が生活クラブ組合員1万人以上の毎月100円の寄付で寄せられています。これだけおおぜいの寄付者が趣旨に共感し、継続的に基金を支えていることは福祉たすけあい基金の最大の強みです。今後も顔の見える支持者をさらに拡げつつ、基金のミッションを伝え地域に拡げていかなければならないと考えています。

福祉たすけあい基金の助成事業

毎年 2 回助成を行います。1 申請上限 100 万円の助成(通常型)と、比較的小さなアソシエーション等の活動の立ち上げや、活動初期の基盤づくりを応援する「スタート助成」をそれぞれ 1 回ずつ行っています。福祉たすけあい基金にはこれまで 242 団体から約 1 億 1,700 万円の申請があり、地域で福祉たすけあいの市民活動を行う 132 団体へ約 4,300 万円を助成しました。

第 9 期からは「スタート助成」を既存団体の新規事業立ち上げにも拡げ、これによって既に 地域で活動実績を持つ団体が、これまでの実践を通して見えてきた新たな地域課題の解決にも活 用が広がっています。

	福祉たすけあい基金 ~通常型~	福祉たすけあい基金 ~スタート助成~		
福祉たすけあい基金 助成事業	福祉	スタート的成。		
助成総額	400 万円	500 万円		
1 件当たり上限	100 万円	40 万円		
活動回数の規制	なし	最長3回まで同一事業での申請可能		





🏵 第 1 期~12 期までの申請・助成実績(5 期、7 期、9 期、11 期はスタート助成)

	助成時期	助成団体数	助成金額(円)	申請団体数	申請金額(約万円)
第1期	2014年4月助成	9	4, 514, 100	34	2400
第2期	2015年2月助成	12	3, 944, 950	17	700
第3期	2015年5月助成	11	3, 822, 000	34	2400
第4期	2015年8月助成	13	3, 389, 131	20	1000
第5期	2016年3月助成	6	1, 667, 633	12	390
第6期	2016年8月助成	7	3, 245, 769	18	640
第7期	2017年4月助成	10	2, 493, 230	16	490
第8期	2017年8月助成	13	4, 000, 000	20	1000
第9期	2018年4月助成	16	4, 346, 100	24	740
第 10 期	2018年8月助成	11	3, 560, 382	19	859
第 11 期	2019年4月助成	14	4, 440, 364	15	508
第 12 期	2019年8月助成	11	3, 941, 072	13	611
	合 計	133	43, 364, 731	242	11, 738

申請事業活動の特徴

第1期から第12期までのべ132団体に助成を行ってきた中で、子ども食堂や学習支援など、 子ども・若者の貧困に関する活動を行っている団体や、高齢者福祉に関する活動団体が目立って います。また障がいへの認知を広げる活動や障がいを持つ方の社会参加を支援する活動、ひきこ もりのピアサポート活動からの申請もあり、人々に寄り添いたすけあいを進める幅広い活動に申 請が拡がっています。

第10期、第11期を見ると、地域の居場所づくりに関する申請が多いのが特徴です。高齢者、 子どもだけでなく若者も関わって、世代を超えた地域の場づくり、ネットワークを広げる課題に 取り組み、意欲的に活動する団体が地域に拡がっていることが伺えます。また、第 12 期では、 DV支援、引きこもりからの申請が増えたことが特徴です。



市民活動の先駆性・有効性・持続性・参加性、そして社会を変える意気込みに期待

選考に当たっては、事業・活動の先駆性や有効性、持続性と共に、広く地域の人々や団体と連携 し、時間・知恵・労力・お金などを拠出し合い、市民が主体となり地域の課題を解決する参加性 が重視されます。また市民事業・活動を生み出し、育成し、事業拡大するだけでなく、市民の実 践を根拠にアドボカシー活動を行い、社会を変えていく志が拡がることが期待されています。



選考委員(敬称略)

委員長 手塚 明美 一般社団ソーシャルコーディネート神奈川 理事長

田中 夏子 日本協同組合学会会長 イタリア協同組合研究者/農業者

川岸 卓哉 弁護士/(特非)原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長

友澤 ゆみこ (特非) ピッピ・親子サポートネット 理事長

小田 鈴子 元逗子市副市長/元逗子市議

高村 文子 横浜 Y M C A 国際・地域事業担当チーフディレクター

かわさき生活クラブ生協理事 鈴木 薫

君島 周子 かながわ生き活き市民基金理事・生活クラブ神奈川副理事長



第11期 福祉たすけあい基金 (第4期スタート助成) 助成団体



NPO法人ファミリア(横須賀市) 代表 高橋 嘉誉

助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月 2018年9月設立

団体の目的・活動内容

2010年発達障がいの子どもと家族および社会に対し、障がいの理解と支援、理解ある第三者を育む地域づくりをめざして「トータスキッズ」を設立、情報提供と療育相談等の地域支援、専門性の高い個別の早期教育を実施。2018年に自立と就労をめざした療育と環境づくりのために、NPO法人ファミリアを設立

活動歴

2010年 「ト―タスキッズ」設立

団体情報

住所: 〒239-0842

横須賀市長沢1-32-11第5新星ビル302号室

TEL:046-874-7676 E-mail:info@ts-kids.com URL: http://www.ts-kids.com/

★助成した事業・活動

へががない。デストロップ 共に生きる地域づくりを目的とした知的障がい・発達 障がいを持つ子どもと家族へのエビデンスに基づく支 援および人材育成事業

★助成対象

児童発達支援事業のための家賃一部補助

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

「研究成果に基づく療育を地域に広げ、障がいがあっ てもその子らしく成長することを願い、そのために家族 としてできる努力をしたいと思う、そんな子どもと家族 を支えたい」

設立した2010年以来、この思いを軸に様々な取り組 みを重ね、2019年4月公的福祉事業を開設することが できました。第11期福祉たすけあい基金に助成いた だけたことは、運営面はもちろん大きな心の支えとな りました。皆様のお気持ちに感謝し、地域の子供と家 族を笑顔にする支援をしてまいります。この度は本当 にありがとうございました。



個に合わせた教材



できた!を育む



地域に向けた学習の 機会も



楽しく学ぶ

ぱくぱく食堂 (綾瀬市)

代表 斎藤 輝美

助成金額 150,000円

団体紹介

設立年月

2017年10月設立

団体の目的・活動内容

食べることを通して、人との関わりを繋げたいとの思いから、「ぱくぱく食堂」を立ち上げました。孤立や貧困家庭が増える中でも、一人 じゃないと感じることで親も子も安心でき、成長できると思っています。子どもが幸せに 生きられる地域づくりをめざして、まずはできることから始めよう考えました。綾 瀬市内ではまだ子ども食堂は1か所しかなく、参加しやすい場所にある福祉プラザで開催しています。一緒にご飯を食べたりする場をつくり、いろいろな人と関わり、子どもとお母さんたちのための食堂づくりをめざています。

活動歴

2017年10月より、生活クラブあやせセンター内で月2回ランチタイムに「ぱくぱく食堂」を開催。2018年1月より、保健福祉プラザに開催場所を移す2018年10月より、日本語教室へのおやつの提供2019年3月 市の推進課との連携での開催(不定期開催)

団体情報

TEL: 080-7825-9185 E-mail: pakupakusyokudou@gmail.com

★助成した事業・活動

ぱくぱく食堂の運営 (2回目申請)

★助成対象

通信費、広報費、交通費・会場費の一部

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今年度も、基金の助成を受けることができ、心より 感謝申し上げます。手探りで始めた活動ですが、回 を重ねるごとに母子の参加も増え、地域の方々に少 しずつ知っていただけるようになりました。通常の 「ぱくぱく食堂」だけではなく、市の推進課との連携 で、外に出にくい母子にも「ぱくぱく食堂」の場を活 用してもらいました。また、外国籍児童の日本語教 室へのおやつの提供を始めました。私達の活動を 応援してくださる思いのこもった基金を活用させてい ただきながら、さらにこの「ぱくぱく食堂」が地域に根 付くような食堂にしていきたいと思っています。これ からも食を通して人と人がつながっていけるような場 つくりをめざしていきます。ありがとうございました。







「キッズかけはし」へのおやつ 提供を始める





家で母子だけで食べると 食べ方とかが気になって 小言ばかりの昼食になる けど、ここでの食事は、楽 しい。子どももお隣りのお 子さんにつられて、いつも は食べない野菜もつい、 ぱくぱく・・・

ママも先輩ママが作ってくれたランチを我が子とゆったりと食べています。時には、下のお子さんをスタッフが抱っこしたりして・・・、

フリースペース ら・ぱれっと (茅ヶ崎市) 代表 重田 扶美子

助成金額:350,000円

団体紹介

設立年月

2015年10月設立

団体の目的・活動内容

10数年にわたりリユース・リサイクル事業や保育事業を行ってきた市民が、空き家を借り、地域の多世代交流スペースを開催。

活動歴

2015年秋から、茅ヶ崎市十間坂の古民家を借りて活動。地域に根ざした様々なイベント開催、フリースペース事業を行っています。

団体情報

住所: 〒253-0045

茅ケ崎市十間坂3-10-36

TEL:0467-83-2871

URL: http://la-palette.org

★助成した事業・活動

お母さんと赤ちゃん、シニア女性たちの 集えるカフェ事業と若者の居場所づくり (2回目申請)

★内容

シニア世代、ママ世代の相互交流カフェ 事業

★助成対象

広報費、物品購入費、家賃一部

助威をうけて・・の思い・メッセージ

2年目の助成を頂くことができました。

活動拠点の環境整備や家賃の一部負担に使わせて頂きます。

地域の中で本当に必要とされる場所となるように、 皆さんとお互いに助け合える助けてと言える場所となるよう継続していきたいいと思います。

この思いを次の世代にも繋げていくために何をしたらいいのか、考えていきます。



















NPO法人みんなの居場所よこすか(横須賀市)

理事長 木下 青子 助成金額:399,124円

団体紹介

設立年月

2018年9月設立

団体の目的・活動内容

現代社会に暮らす私たちにとって「つながり」はかけがえのない資本です。ささいなことを喜び合える場、話を聞いてもらえる場、知識や生活技術を楽しみながら交換できる場があれば、そこを拠点として出会いつながり、私にも何かできるかもしれない、一歩踏み出してみようという発想や主体が生まれます。そのように人々が生き生きとして暮らせることが、これからも求められるまちの姿の一つであると考え、居場所として「み~なの家」をオープンしました。

活動歴

2014年11月 居場所検討会結成 2017年4月 居場所準備会結成 2018年10月 み~なの家オープン

団体情報

住所: 〒239-0801

横須賀市久里浜1-6-8

TEL: 046-895-6989

E-mail: minamina2018@jcom.zaq.ne.jp

URL: Facebook み~なの家

★助成した事業・活動

コミュニティカフェみ~な

★内容

み~な開設費用、祭り開催などの費用

★助成対象

物品購入費、家賃、交通費、通信費、 広報費の一部

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

かながわ生き活き市民基金に賛同したメンバーは 開設当時から基金に市民活動が豊かになればと参加しています。いつかは自分たちが助成を受けることも想定していました。助成金申請過程を通じて市民基金ならではだと感じることも多々あり助成金と一緒に元気ももらいました。同じ思いの市民がたくさんいることも励みになります。居場所の環境が助成金で整い、活動の幅も広がりました。今後は地道に継続して地域に根ざしていきたいと思います。



カフェを和室で利用



カフェスタッフ





カタログスタンドとメッセージボックス



祭りの様子



ひだまりの家プロジェクト(座間市) 代表 鈴木 博美

助成金額:395,240円

団体紹介

設立年月

2018年6月設立

団体の目的・活動内容

さがみ生活クラブ座間コモンズと未就園児の子育 てサロン、子ども食堂を開催していた子育て支援団 体「アクティブ・ママ」がともに活動拠点となる空き家 情報を募集、物件提供を申し出た家主との3者で「ひ だまりの家プロジェクト」を立ち上げ運営。家主、生 活クラブ組合員、子育て支援団体の3者による地域 の居場所づくりを行う。

活動歴

さんさんカフェ・毎月第1火曜日 子育てサロン「ぽっけ」・毎週水曜日 子育てサロン「英語ぽっけ」・毎週月曜日 学習支援ひだまりしっぷ・毎週月曜日 子ども食堂・第2、4金曜日

団体情報

住所: 〒252-0027

座間市入谷1-3232-1

E-mail:hidamarinoie_zama@yahoo.co.jp

★助成した事業・活動

ひだまりの家プロジェクト

★助成対象

物品購入費の一部

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

活動が認められて助成金を受けることができエアコン購入代金に充てさせていただきました。今年の夏は快適に過ごすことが出来、遊びに来て下さった親子もゆっくり過ごすことが出来ました。

今後は地域の方にももっと活用していただけるよう に活動を広げていきたいと思います。











つばき学習会 (川崎市)

会長 吉原 崇徳 助成金額:300,000円

団体紹介

設立年月

2017年7月設立

団体の目的・活動内容

川崎市高津区で生活保護家庭の中学生に学習 支援を行っていたが、小学生のころの苦手を引き ずることもが見られた。

教員の負担増加、共働き家庭の増加などで、周 囲のおとなが子どもに時間をかけられなくなって いることがわかり、福祉や教育に携わるメンバー が集い、小学生対象の学習支援と親を含む居場所 の開設に取り組んだ。塾や学校とは異なり、遊び を交えながら個別に学習支援を行う第三の居場所 を提供する。

今年度は、地域の関係機関と協同しながら企画を開催することで、普段はリーチできない層への支援を試みている。茶道企画なども下期に予定している。(自由研究企画)実験系と工作系で計6種の企画で宿題をサポートした。2日間で延べ34人参加。(宿題追い込みデー)終わっていない宿題を片付けるお手伝いをする。今年度からの新企画。

活動歴

2017/7~ つばき学習室@幸(1/w)

2017/9~ つばき学習室@療育(1/m) 2018/5~ つばき学習室@養護(1/m)

2019/4~ つばき学習室@幸の分室(1/w)

団体情報

住所: 〒232-0071横浜市南区永田北2-18-5

TEL: 080-6585-0880

(事務局/副会長 五十嵐潤) E-mail: tubakigakusyuusitu@outlook.jp URL: https://www.tsubaki-gakushukai.com/

★助成した事業・活動

つばき学習室@幸と地域企画 (2回目申請)

★助成対象

交通費、消耗品費、広報費、物品購入費の一部

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

「家庭の負担を軽減することの意義を感じま した」 (自由研究企画)

子ども達が楽しく取り組んでいる姿を見て嬉しく 感じました。また、保護者の方の「家ではケンカ になってしまうので、このような場があると助か る」という言葉を聞き、家庭の負担を軽減するこ との意義を感じました。

皆様のおかげで企画を実行できたことに感謝申し 上げます。(担当:森島)

「精神的な面でも支えられているのだと思います」 (宿題追い込みデー他)

これが初めての企画なのでやること全てが緊張の 連続で、常に不安に駆られていました。それでも 意義が見出せるようにと、そういった心持ちがこ のお金にはあるのだと思うのです。

私は今、そういったこの寄付に込められた決意に 支えられているのだと思います。物理的な面だけ ではなく、精神的な面でも支えられているような 気がするのです。

だからこそ寄付者の方々には心から感謝しています。そしてその想いに応えたいと切に思います。 紆余曲折はありますが有意義な企画ができるよう 頑張っていきます。(担当:後藤)



学習の風景

つばき学習室@ 幸にて



居場所の風景

つばき学習室@ 幸分室にて







宿題追い込み デーの風景

NPO法人ワーカーズ・コレクティブメロディー(川崎市幸区) 理事長 木村 満里子 助成金額:400,000円

団体紹介

設立年月

2002年3月設立

団体の目的・活動内容

生活クラブ生協の介護保険事業所「生活リハビリ クラブ幸」を運営主体として設立、設立当初より地域 に暮らす人々による、手助けを必要とされている方 に生活支援のサービスを提供する非営利市民事業 を展開。少子高齢・人口減少、格差がひろがる社会 において、設立から15年が経過し、記念事業を進め るに当たり、人のつながりを強めていくための常設 の「居場所・たまり場」の開設を検討。拠点として人 のつながりを再構築し、「おたがいさま」が当たり前 の地域のセーフティーネットとして機能する「多世代 の居場所・たまり場」を具体化する。

団体情報

住所: 〒212-0016

川崎市幸区南幸町2-4-2 ピクセル川崎101

TEL:044-533-8308

E-mail: wco-melody@guitar.ocn.ne.jp URL: http://wco-melodv.com

★助成した事業・活動

常設型「多世代の居場所・たまり場 メロディーココ」の開設

★助成対象

家賃の一部、印刷製本費、広報費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ワーカーズ・コレクティブメロディーでは、年をとっ ても障がいを持っても住み慣れた地域で自分らしい 生活を最期まで送れるように、地域に常設の「居場 所・たまり場」の設立を決め、具体化に向けて地域 の民生委員さん、区社協、地域包括センター、かわ さき生活クラブ運動グループと協議テーブルを開催 し動いてきました。人のつながりを強めながら、相談 や「おたがいさまのたすけあい」を、拡げていくため にコミュニティカフェを中心にフリースペースを開放 し、地域住民がつながり、顔の見える関係がつくれ る新たな拠点「多世代の居場所メロディーココ」を オープンしました。

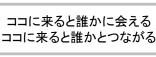
「ココに来れば誰かに会える」「ココに来れば誰かと つながる」をコンセプトに、一人ひとりが顔を合わせ、 対話し、たがいに助け合う居場所づくりを目ざしてい きます。



多世代の ココ食堂



ココに来ると誰かに会える







うたごえ喫茶

ふまねっと運動

NPO法人肺がん患者の会ワンステップ (神奈川県)

理事長 長谷川 一男 助成金額:174,000円

団体紹介

設立年月

2015年4月設立

団体の目的・活動内容

肺がん患者やその家族同士がともに励まし合い、ともに戦う仲間をつくること、また正しい知識を学び自身の治療について考えることを支援するとともに、彼らが自身の経験を広く一般市民に伝えることにより、がん医療の発展及び啓蒙活動を行うことを持って、保健、医療または福祉の増進を図る活動に寄与することを目的として設立。

活動歴

2~3か月に一度のペースでおしゃべり会を開催するほか、ホームページやブログで患者向け情報提供をおこなっています。今後は社会に向けた発信もおこなっていきます。

団体情報

住所: 〒240-0011

横浜市保土ヶ谷区桜ヶ丘1-38-9

TEL:090-8485-7898 FAX:045-333-4536

E-mail: mail@lung-onestep.jp URL: http://lung-onestep.jp/

★助成した事業・活動

肺がん患者を外部講師として活用するがん教育モデル事業の普及推進活動

★助成対象

交通費、印刷製本費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は肺がん患者の会ワンステップの活動をご 支援いただき、ありがとうございます。

令和3年度より小中高校生を対象にがん教育が全面実施されます。児童・生徒一人ひとりが自他の健康と命の大切さについて学び、がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深め、共に生きる社会を築くことができるようになることががん教育の目的です。研修を受けたがん患者が講師としてがん教育を行うことで教育的効果の高いがん教育を行えると私たちは考え、講師の育成を始めています。県・学校の先生方・神奈川県がん患者団体連合会と協同で活動を充実させ、がん教育の普及推進と実施体制の確立を行っていきます。









神奈川県がん患者団体連合会 と共催で、2019年2月24日に 「神奈川県におけるがん教育 外部講師研修会」を行いました



ワーカーズ・コレクティブびすけっと (川崎市高津区)

代表 石村 早苗 助成金額:300,000円

団体紹介

設立年月

2017年3月設立

団体の目的・活動内容

2015年に行ったミニフォーラムで地域に必要な子育て支援が高津区の地域課題と捉え、非営利・協同による子育て支援を行うワーカーズ・コレクティブを立ち上げ、認可外保育施設「保育室びすけっと」を運営。年少人口が増えている高津区で、待機児童の解消に寄与するとともに、地域での人間関係が希薄になる中、子育てに迷いや悩みを持つ保護者や子どもたちの居場所になることで、子育てしやすいまちづくりをめざして活動。

活動歴

2017年3月 設立 2017年9月 認可外保育施設「保育室びすけっと」 業務開始

団体情報

住所: 〒213-0001

川崎市高津区溝口3-22-43

ハイツ大屋103 TEL:044-712-3006

E-mail: wco.biscuit@gmail.com URL: http://wix..to/wODwADo

★助成した事業・活動

小規模保育をめざして開設した認可外保育施設「保育室びすけっと」(月極保育事業・一時預かり保育)の運営・自立化プログラム (2回目申請)

★内容

認可外保育施設での月極め、一時預かり 事業

★助成対象

物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年に続いて2回目の助成を受けることができ、心より感謝いたします。前回は家賃の一部に、今回は保育に必要な備品の購入に使わせていただきました。

年々、利用園児数も保育事業収入も増加していますが、それでもまだまだ事業採算的には赤字構造が続いています。事業の採算性・継続性を図るためには、柱となる保育事業を制度(助成)のもとで行いたいと思い、今年度は認定保育園への移行(申請)を考えています。その申請準備として、現在はNPO法人格の取得(認証)手続きや保育環境の整備に努めているところです。

私たちは、保護者・子ども一人ひとりの心に 寄り添った家庭的な保育を行い、食の安全に配 慮した給食を提供し、保護者も保育者もワーク ライフバランス(生活と仕事の調和)を尊重し あうなど、そのような、あったらいいなと思う 保育園づくりをめざして、引き続きこれからも 元気に活動していきます。













NPO法人結の樹よってけし(清川村) 理事長 岩澤克美

助成金額:382,000円

団体紹介

設立年月

2017年10月設立

団体の目的・活動内容

村の人口が減少し、少子高齢化が進む中で、清水か丘団地は2025年には高齢者が4割を超える。転入者が多くコミュニティが希薄で、高齢者も障がい者も地域で安心して暮らせるように、地域交流を基本に生活支援等を目的に設立。

活動歴

くよってけしの業務>
農産物加工・販売事業
住民交流事業
資源有効活用事業
出張美容院事業
地域就労支援事業

団体情報

住所: 〒243-0112

愛甲郡清川村煤ヶ谷1103-51

TEL: 046-288-2595

E-Mail: yottekeshi@kbh.biglobe.ne.jp URL: https://yottekeshi.jimdo.com/

★助成した事業・活動

「長年住み慣れた地域で安心して生活できる環境 づくり」 — つなぐ・つながる・支え合う 小さな村のた すけあい活動づくり。

★内容

地域の交通支援活動や住民交流組織などの団体間の連携を促進し生活支援に結びつける体制づくりの推進。

★助成対象

印刷製本費、講師謝金、広報費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2019年6月より、築180年の古民家を借りて新たな居場所開設に向けた一大プロジェクトが始まりました。東京工芸大学の2つの建築ゼミとの連携で、のべ200人くらいの学生がカウンターを作ったり、漆喰を塗ったり、9月20日のオープンに向けてリノベーションを進めました。その他にも産業能率大の学生がホームページやソフト面を担当し、動画を作ってくれたり、絵を描いてくれたり、創価大学法学部のゼミ生がNPOの活動に興味を持ってヒアリングに訪れたり、学生との連携では様々な気づきや学びの連続でしたが、この新たな出会いをもとに、2019年10月に「古民家カフェよってけさん」がオープンしました。この新たな居場所が高齢化の進む村のたすけあいのモデルとして自分たちの事業を打ち出せれば、行政との連携も自ずと進んでいくと思っています。







古民家カフェ よってけさん







さくらの森・親子サポートネット (大和市)

理事長 伊地知 るみ

助成金額:400,000円

団体紹介

設立年月

2017年10月設立

団体の目的・活動内容

2011年保育園を開園して以来、子どもたちに安全でおいしい食事や自然に沿った生活環境を整えてきました。しかし、残念ながら家庭への影響力が大きくないのが現状です。やはり、自らが必要だと気づくことからしか取り組めないということを実感してきました。

そこで、保護者の方も含めて、子どもに関わる地域の人たちに、できるだけ自然に沿った暮らしを始めようとする気づきの場を提供したいと思い、地域に開く「コミュニティスペースわにわに」を開所しました。私たちは、子どもたちが健康で、楽しく、希望をもって生きられる社会づくりをめざしています。

活動歴

2011年 認可保育園さくらの森保育園開園

2016年 小規模認可さくらのつぼみ保育園開園

2017年 わにわに食堂開始 親子のひろばわにわに開所

2018年 フードバンクわけあい拠点開所

2019年 さくらの森保育園分園&みんなのスペース

わにわに開所

団体情報

住所 〒242-0028 大和市桜森3-5-25 さくらの森保育園

連絡先:046-259-5206

E-mail: sakurano.mori@nifty.com

★助成した事業・活動

子どもも大人もともに育ちあう場「みんなのスペースわにわに」開設

★助成対象

「みんなのスペースわにわに」開設にともなう家賃、物品購入費の一部

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

保育園運営を通して実感してきた、地域のニーズ が高い親子のひろば、こども食堂に2017年から取り 組んでいます。分園の新設に伴い併設したコミュニ ティスペースにそれらの機能を移転し、合わせてレン タルスペースや自主イベントが行う「みんなのスペー スわにわに」を2019年5月開所することができました。 特に、親子のひろばは、0歳児~2歳児の親子の利用 が多く、かつ、子どもの発達面を心配する保護者が 多いという状況があります。そこで、安心して過ごせ る場と相談室を用意するとともに、子どものより良い 発達を促す室内遊具を整備したいと思っていました。 今回、助成していただいたことにより「肋木トンネル」 を購入することができました。ハイハイをしっかりしな いまま歩いてしまう子どもが増えており、肋木トンネ ルはハイハイなど発達を促すための室内遊具として 優れています。

また、利用収入だけで運営できない事業からの出発 のため、家賃の補助も安定した運営のために心強く ありがたいです。









本もく座 (横浜市中区) 代表 寺島 雅子

助成金額:80,000円

団体紹介

設立年月

2017年10月設立

団体の目的・活動内容

絵本読み、紙芝居、わらべうたを通して小学校・幼稚園・ケアプラザ・地区センターなどで活動を行い地域の明るいまちづくりに貢献する

活動歴

2015~ 本牧原地域ケアプラザ

2016~ 放課後キッズクラブ(大鳥小・本牧小)

本牧地区センター

2017~ 新山下地域ケアプラザ

年々活動は拡大し、2018年度の活動回数は134回延べ2779人の方を対象におはなし会をしました。また、なか区ブックフェスタには毎年「絵本読みボランティア養成講座」を企画し参加しています。

団体情報

住所: 横浜市中区

TEL: 080-2671-4897 (寺島) E-Mail: grhonmokuza@gmail.com

★助成した事業・活動

本もく座の絵本読み養成講座開催と地元に残る民 話を基にした紙芝居作成

★内容

横浜市中区本牧地域において本読み等の活動をボランティアで行い、地域の明るいまちづくりに貢献する。

★助成対象

養成講座講師謝金

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

スタートアップの3年間、いつも暖かいご支援をいただき有難うございました。

社会とのつながりを求める高齢者、家の事情で夕方になっても学校に残る小学生、孤独の中で慣れない育児に奮闘しているお母さんたちが、自分らしく生きていく心の糧となるような絵本をたくさん届けています。本もく座の活動を通して地域に貢献できるよう、これからも地道に活動を続けてまいります。





手作り紙芝居



 ★ 11月1日(金)は新山下地域ケアブラザです。
 10/10 ヴォイストレーニング!屋く声・伝わる言葉 雰囲史研究が 24 カンタン板芝展を作って関き手と交流しよう! 片周囲子充ら 11/1 競手が正常が多うおはなし会 11/1 飲本の世界を広げる見方・読み方講座 八重帳身子充/

今年もやります!養成講座



十五夜おはなし会



放課後キッズクラブ

NPO法人い一ぷらす(横浜市金沢区) 理事長 上原 陽子

助成金額:400,000円

団体紹介

設立年月

2015年10月設立

団体の目的・活動内容

就労継続支援B型作業所として、ドッグカフェ、お 弁当、ものづくりの3事業に取り組む。社会の役に立 ちたい、働きたいと願う障がい者が一般就労では作 業がゆっくり過ぎて雇用が困難などの問題点を指摘 され、あきらめてひきこもるということがある中で、 「私はこれができます」という本人主体の事業体制 の中で、自信をつけやりがいを見つけて働いている。 キッチンスペースを広げて利用者の工賃アップにつ なげるため、現在はカフェ事業を休止。

活動歴

2016年8月1日、横浜市金沢区にドッグカフェ&もの作り「のあのあ」を開所

団体情報

住所: 〒236-0042

金沢区釜利谷東6-1-23

連絡先 045-512-6407

E-mail e-plus@kb4.so-net.ne.jp

★助成した事業・活動

就労継続支援B型作業所におけるお弁当事業 強化

★内容

通常の事業所に雇用されることが困難な障がい 者に就労の機会を提供するとともに生産活動を通 じてその知識及び能力向上のための訓練を行う。

★助成対象

物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成金で、業務用スチームオーブンを設置 することができました。

キッチンスペースを広げ、工賃アップの為、お弁当作りと販売を事業活動の中心に考えられるようになりました。このお弁当の売上は工賃を充分に支えてくれています。

近隣の訪問看護ステーションや薬局にお弁当を届けたり、地域の一人暮らしのお年寄りにもお弁当を届けるという活動も始めています。













ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in横浜

代表 割田 大悟

助成金額:310,000円

団体紹介

設立年月

2015年6月設立

団体の目的・活動内容

神奈川県内はひきこもり当事者が過ごせる場所が限られており、特に40歳以上の方が参加できるところは非常に少ないことから、年代・性別に関係なく安心して過ごせる居場所をつくりたいと考え、ひきこもり経験者4名で設立。現在は横浜と町田でひきこもり当事者会、当事者同士の学習会「ひきこもりピアサポートゼミナール」を開催。2019年9月より誰でも参加できるピアサポート講座を新規開催。

活動歴

2015年7月…第1回居場所開催 2016年6月…女子会開催 2016年度…当事者主体によるひきこもりピアサポート普及啓発事業実施 2017年度…ひきこもり当事者主体によるピアサポート学習プログラムのモデル事業実施 2018年度…ひきこもり当事者主体によるピアサポート学習のであるとしままである。

団体情報

住所:非公開 連絡先 hikizakura.yokohama@gmail.com

★助成した事業・活動

ピアサポート普及啓発のための学習会プログラムの標準化に関する事業

★内容

ピアサポートを学べる機会が増えるよう、今まで実施してきた学習会プログラムを、他団体が活用できるようにパッケージ化し、実施の手引きを作成・発刊する。

★助成対象

交通費、講師謝金、印刷製本費、消耗品費 通信費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

3年連続で助成をくださり、ありがとうございます!

ピアサポート普及啓発活動を進め、当事者が 主体となって地域で支え合いや活躍できるた めの土台になると考えています。

助成をいただいたことで、普及啓発活動が進み、ノウハウを重ねることができました。今年度は新たなステージとして、さらに実のある活動にしたいと思います。

演習、歓談、報告会の様子







第12期 福祉たすけあい基金 助成団体



特例認定NPO法人くるみ - 来未 (川崎市) 理事長 太田修嗣

助成金額 1,000,000円

団体紹介

設立年月

2014年2月設立

団体の目的・活動内容

知的障害・自開症のある息子を育てる中で多くの生きづらさを感じ、「自閉症のように多様な特性のある人のQOLを向上し、一人ひとりがその人らしく豊かに生きることができる社会を創る」という理念のもと、当事者の親と教員が中心となりNPO法人くるみ一来未を立ち上げる。

事業活動は、月1回程度の親子向け/当事者向けイベント、保護者向けセミナー、支援者や一般向けの啓発活動などを行っており、立ち上げからの5年間でイベント実施回数は50回以上、参加人数は延べ1,500人を数える。

活動歴

親子向け/当事者向けイベント 38回 ガイドヘルパー研修講師 4回 NPO法人等支援者研修講師 6回 中学校、特別支援学校での研修講師 3回 啓発映画の上映会 3回 (ぼくはうみがみたくなりました、

みんなの学校、人生フルーツ) 保護者向け勉強会 4回

(おこづかいセミナー、ライフプランセミナー、 思春期セミナー)

各種当事者活動支援 (スポーツセンターでの運動&ご飯づくり50回、 生き方について話し合う場11回、 当事者が主体のイベント企画5回等)

団体情報

住所: 〒T211-0013

川崎市中原区上平間1264-3

TEL: 080-6538-6664 (太田) E-mail: kurumi.naoto@gmail.com URL: http://kuruminaoto.org ★助成した事業・活動

コミュニティスペース立ち上げによるインクルーシヴな地域社会づくり~5年間の自閉症支援活動を起点に~

★内容

障害当事者と家族を対象とした「居場所づくり」

★助成対象

耐震の為の改修工事費用

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

これまで活動して来た公共施設では、障害・特性のある方やご家族が参加しづらいという課題があり、安心して集える居場所をつくることを決意しました。この2月に築50年の空き家を見つけ、現在協力団体/支援者の方からバックアップを受けつつ、DIY改修工事を行っています(2019年8月時点)。

障害児者や家族だけでなく、地域の高齢の方など、 その場に集うみんなで温かな団らんができるスペースの確保と安心安全のための耐震性を備えるため、 大切に助成金を使わせていただきます。

すでにスペース貸しのご要望やセミナーの開催、 食に関するイベントのアイディアなどいただいており ます。地域に愛される交流スペースを創り、豊かな 地域社会づくりを目指します。

完成しましたら、ぜひ遊びにいらしてください!



おやこで楽しむ「プログラミング講座」



みんなでワイワイ流しそうめん! (はじめてのおとまりキャンプ @黒川野外活動センター)



みんなでつくる、地域の居場所! (DIY参加メンバーの集合写真)

横浜みどりの学校ひまわり (横浜市青葉区) 代表 渡辺 正彦 助成金額 329.345円

団体紹介

設立年月 2011年6月設立

団体の目的・活動内容

団体の目的・活動内容 元横浜市立さつきが丘小学校校長の渡辺正彦が 設立した全てがボランティアにより運営されている私 塾です。学校の理念は、児童生徒の趣味や特技な ど児童・生徒が有する素晴らしい個性を積極的に認 め、成長につなげていくことです。

をコンセプトに、校長以下全員が手弁当で学校運営 をしています

不登校・発達障害、その他現在悩んでいる幼稚園 児から高校生まですべてを対象として、学習支援 ソーシャルスキルの習得から農業活動まで幅広く子 供と保護者を支援しています。

活動歴

2011年6月:「横浜みどりの学校ひまわり」設立 2011年: 藤が丘地区センター自主事業にて講演 2012年10月:旭区小学校教育研究会にて講演 2012年4月:神奈川 新聞の 2012年4月: 神奈川 新聞の 2012年4月 (中央 2012年4月) 神奈川 新聞の 2012年4月 (中央 2012年4月)

新割り体験の記事掲載 2014年6月:「ひまわり地域公開講座 2015年3月:日本教育新聞に掲載 2016年11月:朝日新聞神奈川版に掲載 2017年8月:「ひまわり地域公開講座

「秋山佳胤先生・ひまわり校長ジョイント講演会」開催

2017年10月:読売新聞に掲載 2018年7月:しらとり台81番地から80番地に移転 2018年12月:横浜北生活クラブ講演会にて講演

団体情報

住所: 〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台80

TEL:090-9201-3992(渡辺校長) URL: http://himawari-school.jp/

★助成した事業・活動

「咲け!子供たち!ひまわりの鶏飼育プロ ジェクト」 (学校教育に苦戦する子供たちによる鶏飼育活動)

★内容

子供たちや地域ボランティアにより、現存する鶏舎解体から新鶏舎の建設を行う。鶏飼育を通じて培われる情操教育や地域の方々とのふれあい、ビジネスモデルの経験を積むことなどを目的としている。

★助成対象

鶏舎建て替え為の材料費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

卵から孵化させたひよこが日々成長していき、現 存の鶏舎も手狭になってきていた時にちょうど助成の 知らせを受け、みんなで大はしゃぎ!感謝の気持ちで いっぱいです! さっそくプロジェクトを始動させ新しい 鶏舎の建築に取り掛かります。毎日、たくさん餌を食 べどんどん大きくなっていくひよこたちに、素敵な家を 作ってあげよう!子供も大人もみんなで作ろう!大き くなったら卵を産んでくれるかな?売ってみたいな! 毎日のお世話は大変だけど、それ以上に楽しみなプ ロジェクトになりそうです。

ご興味のある方はいつでもご連絡ください!ひまわり は、いつでも、だれにでも開かれています。

助成をして下さり本当にありがとうございます!



リクガメの背中で和む ひまわり産まれのヒヨコ



子供も鯉も、ゆったり泳げ



みんなでワイワイ そうめん流し大会

福島の親子とともに・平塚 (平塚市) 代表 小嶋 倫子

助成金額 300,000円

団体紹介

設立年月

2012年 10月設立

団体の目的・活動内容

2011年3月の福島原発事故により、神奈川も含めて首都圏の電力が福島原子力発電所から供給されていることや自分達に快適な生活が福島の人たちのリスクの犠牲の上に成り立ていたことを知ってショックを受けた。何かしなければと思っていたところ、たまたま卒業生の母親が福島県楢葉町出身ということから、放射能汚染の為に外で自由に遊べはい子どもたちの家族を卒業生の為に借りている借家に招き、長期休み中に保養してもらうということによっと12年に友人たちに呼び掛けて「福島の子とともたちを平塚に招く会」を立上げ、カンパを集めて夏休みに3家族の受け入れを開始する。さらに活動を継続・発展させるため「福島の親子とともに・平塚」を設立した。

活動歴

2012年夏から今までの保養受け入れ家族は98 家族378名(2015年春から宿泊所を2軒に増やす)、講演会は15回実施(2019年9月現在)

団体情報

住所: 〒259-1201 平塚市南金目1127-3

TEL: 0463 - 58 - 7543

E-mail: w.k@mg.scn-net.ne.jp

★助成した事業・活動 福島の親子の保養受入れと講演会

★助成対象

交通費、講師謝金

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今年度助成金をいただき、福島の親子が湘南の自然の中でゆっくり心身ともにリフレッシュできるように 保養受け入れ活動を継続することができてありがとう ございます。

放射能の安全基準を福島県だけは原発事故前の20 倍の20ミリシーベルト/年に変えられて、次々に避難 解除されています。強制帰還させられた家族も保養を 希望して加わるようになり、近年申し込み数が増えて きています。

小児甲状腺がん患者は200名以上になっていますが、国や行政は福島原発事故との関連性は認めていません。そして健康検査さえも縮小しようとしています。

「放射能から子どもたちを守ろう」と保養に参加することさえ「復興の足を引っ張る」と言われ、現地ではかっての「非国民」のように非難されています。

原発がある以上、「今の福島は明日の神奈川」ととらえて、福島の実態を知り、私たちは今何を支援すべきか考えて行動していきます。また二度と同じような事故を起こさないためにはどうしたらよいか講演会などで学び、原発のない社会の実現を目指していきましょう!

皆さん、「復興オリンピック」によって福島が「臭いものに蓋」されることがないようによろしくお願いいたします。



大磯海岸にて海水浴



「放射能ってなあに」を 紙芝居で親子学習



「福島の現状と課題」の 牛山元美Dr.の講演会

NPO法人ぜんしん (平塚市) 代表 柳川 涼司

助成金額 300.000円

団体紹介

設立年月

2011年 10月設立

団体の目的・活動内容

団体の日的・活動内容不登校・ひきこもりの当事者、保護者の支援施設が不足する相模川から西側の地区においてニーズの高い「元当事者による相談対応」や「ケーム、パソコン依存で不登校・ひきこもりに悩む方への支援」を提供することが必要である。そこで、元不登校等の当事者で、且つTVケーム日本一の経験者でもある当会代表者が、当事者を支援する為の居場所を平塚市に設ける必要があると考え、団体を設立。

活動歴

- **石 別位**1)居場所の提供:不登校・ひきこもり当事者親子へ相談・意見交換会を開催(2011年10月~)

 2)就労支援相談会&ミニ講座の開催:当事者親子への相談、パソコン講座等(2013年6月~)

 3)外出支援ゲーム大会の開催:カードゲーム等での交流を通し、当事者親子の自立を支援(2014年~)

 4)コミュニケーション・人間関係講座の開催(神奈川県受託事業:対人問題等の克服ほか(2015年~)

 5)個別相談(訪問支援):不登校・ひきこもりに悩む親子へ個別・訪問相談による支援(2015年~) ほか

団体情報

住所(事務所) 〒254-0026 神奈川県平塚市中堂2-22 住所(居場所)

神奈川県平塚市見附町1-8 ひらつか市民活動センター **〒**254-0045

TEL: 0463-23-1177

E-mail:ryoz@lifestyle-cps.sakura.ne.jp URL: http://ameblo.jp/zenshin-maekatsu

★助成した事業・活動

不登校やひきこもり状態に ある子どもたちが先ず、家たら外へ出て、元気になれる、きっかけづくりの場となる「ゲー ム大会」と「団体説明会」の開催

★助成対象

「ゲーム大会」と「団体説明会」の開催費用(講師謝金、スタッフ人件費、広報費など)

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、助成事業として採択くださり、感謝してお ります。

助成事業において私たちは、不登校やひきこもり状 態にある子どもたちが、先ず、家から外へ出て、元気 になれる、きっかけづくりの場として「ゲーム大会」と保 護者向けの「団体説明会」を開催していきます。

ゲーム大会では、不登校等にある子どもたちがゲー ムやマジック体験等をして楽しく過ごす為のブース等 を市民活動団体と連携して設けます。

団体説明会では、自団体の活動紹介だけでなく、連 携する団体の方々をお招きして、活動紹介等を実施し、 多様な問題を抱える親子が、自立へのきっかけを得ら れる場を提供していきます。

ゲーム大会と団体説明会を開催することで、悩みを 抱える親子が、一人でも多く、きっかけを掴み、自立に 向かえるように支援していきたいと考えております。



居場所(定例活動①) ·毎月第4土曜日 13時から(※2019年 度より10時から)開催 ・当事者親子が集い、 相談・意見交換等が 出来る場所。



居場所(定例活動②) •毎月第2金曜日 10時から開催 ・午前は、就労相談会 午後は、フリースペー スでミニ講座等を開催。 ゲームによる交流等。



外出支援ゲーム大会 (イベント事業) •毎年9月に開催 ゲーム、映像制作、 マジック体験等。 保護者向けの意見交 換も実施。

あすのち (座間市、横浜市) 代表 乾

助成金額 120,000円

団体紹介

設立年月

2017年 5月設立

団体の目的・活動内容

「あすのち」は、こどもが明日に希望をもてるきっかけづくりを目指して、無料学習サポート「夕暮れ学級」、地域のつながりづくり「さつきプロジェクト」を行う団体です。

タ暮れ学級設立のきっかけは、「経済的に余裕がなく無料塾を探したけれど、地元では見つけられず諦めた」というメンバーの実体験からでした。

「これからのこどもたちには学べる場を手にしてほしい」というメンバーの想いに共感した高校生5人で、2017年5月に団体を設立しました。

活動歴

2017年10月より座間市で活動を開始、2019年3月に横浜教室を開校しました。

団体情報

E-mail: satsuki.yuugure@gmail.com

URL: https://satsuki-yuuguregakkyu.jimdo.com/

★助成した事業・活動

学習サポート「夕暮れ学級」 地域のコミュニティ「さつきプロジェクト」

★助成対象

印刷費(チラシ、活動報告、卒業冊子、教材) 物品購入費(イベント用) 無料塾シンポジウム全国大会参加交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

高校生5人で始まった「あすのち」は、今年度で2年 を迎えることができました。

あすのちの運営する無料の学習支援「夕暮れ学級」とフリースペース「さつきプロジェクト」には、地域の小・中・高生が通っています。参加に限定的な条件を設けていないので、「高校生や大学生と学びたい」「経済的に厳しい」などさまざまな背景の生徒が在籍しています。今回の助成は、地域に開かれた教室を続けるための広報や物品の購入、高校生が活動していることの発信や他団体の活動を学びにいくために使わせて頂きます。

これからも「明日に希望をもてるきっかけをつくる」という目標に向けて活動していきますので、よろしくお願いいたします。



夕暮れ学級の様子



さつきプロジェクトの様子



あすのち主催イベントの様子

NPO法人湘南市民メディアネットワーク (湘南地域)

代表 中野晃太

助成金額 300,000円

団体紹介

設立年月

2007年 5月設立

団体の目的・活動内容

主に湘南地域を中心に、映像・メディアコンテンツを通して人と人・人と地域をつなげることを目的としています。映像制作やイベントによって市民活動支援や地域の活性化等行う他、障がいの有無や年齢を問わず多様な市民や不登校・ひきこもり・貧困等の困難を抱える子ども達も含めた青少年を対象に映像作品制作ワークショップを行うことで、自己表現の機会づくりや自己肯定感の向上、社会参加支援、コミュニケーションの活性化、メディアリテラシー教育等を行っています。

団体情報

住所: 〒251-0.871

藤沢市藤沢631 食生活研究会店舗内

TEL: 0466-47-7765
FAX: 0466-47-7818
E-mail: info@scmn.info
URL: http://scmn.info/

★助成した事業・活動

不登校、ひきこもり・貧困等の困難を抱える青少年 支援の自己肯定感の向上、社会参加支援のための 映像作品制作ワークショップ事業

★助成対象

ファシリテーター費用、交通費、通信費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

映像作品制作の過程で、自身や日常を再発見したり、新しく世界や他者との関わりを作り出したり、仲間と協働していく中で普段とは違うコミュニケーションを体験してそれぞれの視点や持ち味を認め、生かし合う経験を経ることで青少年達は自己肯定感を高めていきます。特に不登校、ひきこもり・貧困等の困難を抱える青少年達に、そのような機会をより一層届けたいと考え、今回の基金の助成を活用させていただいて、フリースペースや児童養護施設での映像ワークショップを開催いたします。地域の人たちにも制作にご協力いただいたり、上映会を通じて、青少年達の状況や個性、想いに触れていただく機会をつくることで、青少年の社会参加と、様々な市民が支え合う共生地域社会実現への一助となればと願っております。



アイディアを出し合って撮影



編集の様子



地域の人へ取材



上映会の様子

一般社団法人 OHANA (平塚市) 代表 赤松未来

助成金額 350,000円

団体紹介

設立年月

2016年 12月設立

団体の目的・活動内容

神奈川県在住のハンドメイド作家と性犯罪被害当事者が中心となって「もの創り」を通して辛い体験を体外に出し、「創る」事で達成感を得、自尊心を被害当事者自身の手で取り戻していく「安心できる居場所」として設立。また、孤立の防止と社会復帰の訓練として、「ものつくり(IT含む)」のスキルを身に付け、地域でのイベントに出店参加をしている。その他、ピアカウンセリングや関係機関への同行支援も行っている。

活動歴

2017年2月~横浜市内のコミュニティカフェ、公共スペースで定期的に「ハンドメイド(小物雑貨、アクセサリー、ウェブコンテンツ)講座を開催。

2018年1月~かながわ県民センターにて毎月第2~4木曜日に電話、来所によるピアカウンセリング、ハンドメイドピアサポートを実施。

団体情報

住所: 〒254-0044

平塚市錦町7-16 サンヒルズ湘南402

TEL: 0463-79-8597 FAX: 0463-79-8623

E-mail: handmaderouje@gmail.com URL:https://www.yhw-ohana.com/

★助成した事業・活動

OHANA湘南プロジェクト

★内容

平塚エリアでのピアカウンセリングおよび地域での性犯罪被害者への支援、性犯罪についての公開講座の開催。

★助成対象

人件費(カウンセリング)、広報費、講師謝金、会場費、印刷費(チラシ、リーフレット)、通信費、交通費、消耗品

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

#Metoo運動やフラワーデモ等、性犯罪被害に関する活動が盛んになっていく一方で、未だに#Metooと言えない被害当事者がたくさんいます。過去に性虐待を受けた方、被害の記憶が原因となり、精神的な疾患を発症してしまった方、二次被害を受けてしまった方は、まだまだ声を上げるのはとても難しい事です。法の隙間からこぼれおちてしまい、一人で苦しみ続けてきた方が、心から安心して生活できるように、じつくりと時間をかけて心身の回復に力を注ぎ、地域と被害当事者を繋ぎ、社会からの孤立、二次被害の防止にも取り組んでいきます。



当団体のチラシ



昨年度開催した性暴力被害 当事者ケア勉強会





イベントで出店参加、勉 強会での様子

サーフ・リレイションシップ活動団体 AONOWA (湘南地域)

代表 坂田 いつか

助成金額 220,392円

団体紹介

設立年月

2018年 5月設立

団体の目的・活動内容

私は児童養護施設、高齢者施設、障害児者施設に15年以上従事してきました。そこで施設であるが故、海の近くに住んでいるにも関わらず海に行けないといった現状があります。海は危ない、一緒に職員が行けないなどといった理由のためです。また、施設はそこに住んでいるため人間関係もその中だけといった狭い関係になりがちです。

そういった現状を少しでも解決するために20年以上経験してきたサーフィンや海で出来る活動などを通して、参加者が様々な方と繋がることで生活が充実したものになって欲しいといった願いから設立に至りました。

団体情報

住所: 〒252-0054 平塚市中里19-8

TEL: 0463-34-3055

E-mail: blue05300903@gmail.com URL: https://aonowa.site/

★助成した事業・活動

サーフ・リレイションシップ活動AONOWA

★内容

児童養護施設、障害児者入所施設、高齢者入所施設、グループホームなどの入所施設を利用されている方を対象とした海で多世代の方と繋がる事業(サーフィン体験、ビーチアクティビティ、ビーチクリーンなど)

★助成対象

物品購入(サーフボード)、レンタル費用

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は助成を頂き誠にありがとうございます。団体発足から1年が経ち、多くの人からのサポートを受けて活動をして参りました。活動には気持ちと同じくらい、資金が必要であり、サポートしてくれる人も大事であると感じました。

まずは道具を揃えるといったスタートアップのところで 助成をして頂き、この活動が一時的なものに終わらず、 今後も継続していけるようなシステムを作る ことを考えていきたいと思います。

海に行く機会がみんなにあるように、活動で繋がった 縁が細くても長いものになりますように、活動を継続し ていきたいと思います。







PD Place (相模原市) 代表 柴 喜崇

助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月

2018年 3月設立

団体の目的・活動内容

パーキンソン病における運動効果は明らかになっている一方で、社会保障費逼迫に伴う難病認定制限や医療機関における外来診療切り捨てなど、パーキンソン病患者が安心安全に運動できる場所が少ないため活動を始めました。

PD Placeは、医療や福祉を離れた場、すなわち住み慣れた生活地域において行われる「当事者が主体となり活動する心理・精神機能および運動機能の増進の場」です

活動歴

2018年10月より、月1回(第2土曜日)の2時間 (10:00~12:00)、相模原市(主に北里大学)にて行 なっております。

団体情報

TEL: 070-5077-4332 FAX: 050-5525-8469

E-mail: pdplace.sagami@gmail.com

URL: https://pdplacehp.wixsite.com/website

★助成した事業・活動

パーキンソン病当事者が主体となる地域における 健康増進活動

★内容

相模原市およびその近郊の市町村に在住のパーキンソン病者を対象に月1回の頻度で行う活動の立ち上げに必要な費用

★助成対象

交通費、講師謝金、チラシ印刷費、会場費、通信費、物品購入(ユニフォームなど)、消耗品

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

パーキンソン病における運動効果は明らかになっている一方で、社会保障費逼迫に伴う難病認定制限や医療機関における外来診療切り捨てなど、本邦におけるパーキンソン病者に対する健康増進活動の介入は十分と言える状況ではなく、地域における健康増進活動は非常に少ないのが現状です。このため、パーキンソン病者が主体となり地域で健康増進活動を行う機会提供が必要です。

パーキンソン病の患者数は今後も増加することが 予測されており、地域で生活する患者さんが一人で も多く、安心して安全に運動が実施でき、それが継 続して行える場所を提供できるよう活動を進めてい きたいと思います。



ダースやヨガ, 本極 がいるがいら60分 大体憩を、100 大体憩がら60分 大療は、100 大藤の東げラムを 大変が、100 大変

認定NPO法人 エンパワメントかながわ (神奈川県)

代表 阿部 真紀

助成金 200,000円

団体紹介

設立年月

2004年 4月設立

団体の目的・活動内容

くビジョン>

子どもが自分自身を大切に思い、暴力を受けずに安心して生きていく社会を実現します。

<ミッション>

一人ひとりの人が、自分自身を大切に思えること (人権意識)で、他者も大切にしたいと考え、 お互いの力を引き出しあい(エンパワメント)、つな がっていくこと(コミュニティ)で、いじめや虐待、性暴 力など身近な暴力からなくしていくことを目指します。 エンパワメントかながわはミッションを実現していくた めに、次のような事業を実施します。

CAP(子どもへの暴力防止)プログラム提供事業 デートDV予防・啓発事業、各種人権啓発事業 広報事業、電話相談事業

活動歴

2004年4月 CAPスペシャリスト16名で設立

2004年9月 NPO法人登記 2014年2月 認定NPO法人

団体情報

住所: 〒221-0834

横浜市神奈川区台町11-26-103

TEL: 045-323-1818

E-mail: kanagawa-cap-miracle@isis.ocn.ne.jp

URL: https://npo-ek.org/

★助成した事業・活動

ティーンズサポーター(デートDV専門相談員)派遣モデル事業

~高校生を中退させない!10代を支援して暴力の連鎖を断ち切る~

★内容

神奈川県内の高校等で発生したデートDVの事案に、 ティーンズサポーター(デートDV専門相談員)を派遣する。

★助成対象

相談員謝金

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

つきあっている3組に1組の10代カップルがデートDV被害・加害の当事者と言われています。

当団体はデートDV専門相談員として神奈川県内の高校や大学に入り、被害・加害生徒に相談・心理教育を実施しています。

全入学時代の高校生が暴力理由で中退しないことで、 自分の将来を見据え希望をもてるようエンパワメントす る事業になります。

その効果は、被虐待児による世代間の暴力連鎖を断ち切り、その後の貧困問題解決にもつながります。子どもの問題行動はSOSと捉え、支援するおとなも増やしていきます。





小学生との CAPワークショップ



デートDV専門相談員を 養成





高校でのデートDV予防 ワークショップ

女性のための緊急夜間一時避難所「ラ・シールド横須賀」(横須賀市)

代表 竹内菜緒

助成金 421,335円

団体紹介

設立年月

2019年 5月設立

団体の目的・活動内容

団体情報

住所:横須賀市(非公開) TEL: 050-5372-3953

E-mail: lashield.shelter@gmail.com

URL:

https://peraichi.com/landing pages/view/la-shield

★助成した事業・活動

女性のための緊急夜間一時避難所 「ラ・シールド横須賀」

★内容

同居家族に依存症(アルコール、薬物、ギャンブル)の配偶者、子供、両親を持つ成人女性とその未就学児を対象に、依存症家族から精神的、身体的暴力を受けて行き場を失った女性のための夜間一時避難所の開設

★助成対象

交通費、チラシ印刷費、会場費、講師謝金、 会議費、物品購入(寝具)

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成を受けて、傷ついた女性を助けるための 避難所を立ち上げ、心を休める場所を提供できるよ うになりました。活動のご支援を心から感謝いたし ます。

これまで傷ついた家族のカウンセリングや相談をしてきましたが、心の悩みだけでなく、現実問題として、実際に行き場を失っている方にとって「何かあったら逃げられる場所」があることは、大きな安心感につながっています。

家庭の問題というのはなかなか表面化し難く、サポートが行き届かないことで大きな問題に発展することもあるからこそ、この避難所の活動を通じて、一人でも多くの人が社会とつながり、助けを求めることができる、そんな居場所づくりを目指していきたいと思います。



財団を応援する「賛助会員」募集と「福祉たすけあい基金」への寄付のお願い

登 賛助会員募集

公益財団法人かながわ生き活き市民基金は、助成事業(福祉たすけあい基金、エラベル)、研修・セミナー事業(フォーラム開催、報告書発行)、相談・助言事業(フードバンク支援業務受託、遺贈・生前寄付)、広報事業の4つの事業を行っています。かながわ生き活き市民基金では、当財団の活動を継続的に支援してくださる「賛助会員」を募集しています。賛助会費は財団の運営に活用します。賛助会員としてかながわ生き活き市民基金への応援をお願いします。

<会費>

個人会員 年会費 (1 口 1,000 円) 1 口以上 法人・団体会員 年会費 (1 口 10,000 円) 1 口以上

- 賛助会費は当財団への寄付となり、税制優遇処置の対象となります。
- 賛助会員として支援いただくと下記のような特典があります。

<会員特典>

- ・ 年次報告書の送付
- ・助成団体報告書「福祉たすけあい基金 BOOK」の送付
- ・ フォーラム報告書の送付
- ・ 当財団が企画開催するイベントへのご招待(フォーラム、贈呈式)

```
公益財団法人かながわ生き活き市民基金 賛助会員規程
(目的)
     第1条
            この規程は、公益財団法人かながわ生き活き市民基金(以下この法人という)の事業の発展のために協力する賛
     助会員に関して、必要な事項を定めることを目的とする。
(資格)
     第2条
            この法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする個人又は法人は、会員になることができる。
(入会)
     第3条
            会員になろうとする者は、所定の入会申込書を提出しなければならない。
     (会費)
     第4条
           会費は入会時に年会費を納入し、以降、年会費を毎年納入しなければならない。
    2. 年会費は次のとおりとする。
(1) 個人賛助会員 1 ロ 1,000 円 1 ロ以上
(2) 法人・団体賛助会員 1 ロ 10,000 円 1 ロ以上
    3. 会員が納入した年会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない。
(特曲)
       会員はこの法人が提供する次の情報・サービスを受け取ることができる。
第5条
1.年次報告書 2フォーラム報告書 3. 助成団体報告書
4.この法人が企画開催するイベントへの招待
 (退会)
    、 会員は退会届を代表理事に提出し、任意に退会することができる。
2. 会員は次の事由により資格を喪失する。
     2. 云貝は次の事由により負権を表でする。
(1) 法人の解散又は個人の死亡
(2) 会員が正当な理由なく年会費を滞納し、かつ催告に応じないとき。
(会費の使途)
    第7条
           会費はこの法人の公益目的事業を推進するための活動費用(事業費・管理費)に使うもとのとする。
(改正)
第8条
       この規程の改正は、代表理事が理事会の決議を経て行う。
 附則
1. この規程の施行に関し、必要な事項は別に定める
2. この規程は 2018 年 8 月 11 日から施行する。
```



「福祉たすけあい基金」への寄付のお願い

神奈川県内で福祉たすけあいの市民活動支援へのご寄付をお願いします。

公益財団法人かながわ生き活き市民基金では、毎月 100 円の寄付(手続き上、年間分一括振込)をお願いしています。寄付金のうち 65%を「福祉たすけあい基金」の助成金として活用します。また、35%は公益財団法人の運営費(管理費、広報費、市民活動のネットワーク費など)として使わせていただきます。現在 1 万人を超える方々が継続寄付に賛同されています。

年度の事業活動報告書は財団のホームページからご覧になれます。

賛助会員・福祉たすけあい基金」への寄付申込方法

35ページの申込用紙に必要事項をご記入いただき、

①郵送、②ファックス (045-620-9045)、③E-mail、のいずれかで当財団まで送付ください。

住所: 222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6 階

FAX: 045-620-9045 迄

E-mail: info@lively-cituzens-fund.org

上記手続きが済みましたら以下の方法にてご入金をお願いいたします。

●郵便振替

記号番号 00250-0-72370

公益財団法人かながわ生き活き市民基金

●銀行振込

中央労働金庫 新横浜支店(334) 普通 3603639 公益財団法人かながわ生き活き市民基金 通信欄に「賛助会員」、 「福祉たすけあい基金」の いずれかを記入ください。

●現金書留

送付先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 6F

公益財団法人かながわ生き活き市民基金 行

税制優遇が受けられます

公益財団法人かながわ生き活き市基金へのご寄付は、確定申告により以下の様に税制上の優遇措置を受けることができます。

所得税控除・・・・・・・・・・・・・・・・・・(公益法人への寄付総額-2,000 円)× 40% 県民税・市町村民税控除 ・・・(同上) × 10%

例:横浜市在住の方が10,000円をご寄付された場合

 $(10,000 円 - 2,000 円) \times 50\% = 4,000 円が控除されます。$

詳しくは財団ホームページか、お住まいの自治体・税務署でご確認ください。



賛 助 会 員・福祉たすけあい基金寄付 申 込 書

貴財団の趣旨に賛同し、(賛助会員・福祉たすけあい基金寄付)に申し込みます。

※この用紙をファクス (045-620-9045) または郵便でお送りください。

※この用紙を当財団ホームページからダウンロードして、メール送付でも結構です。

申込年月日*	20	年	月	日							
申込種別*		□ 賛助会員(個人) □ 賛助会員(法人					•団体)	体) □ 福祉たすけあい基金寄付			
ご氏名*	(フリ	ガナ)		•							
(法人/団体名)							(法人・団	目体の場合、ご担当者:)		
ご住所*	₹										
TEL*						FAX					
E メール											
ホームページや広報物へのお名前の掲載*)掲載*		□可		□匿名希望			
メールマガジンヤ	5広報物	の送付	け、イベン	小案内な	ど* □	〕必要	ロメー	ルマガジンのみ必要	□不要		
-	メッセージなど 自由にお書きください										
*印は必ずご記入	ください。	0									
□ 賛助会員 (個人会費)	申込口数 ()口 <u>1 口 1,000 円以上、何口でも</u> ※会員の期間は、4 月~翌年 3 月となります。										
□ 賛助会員 (法人·団体	申込口数 ()口 1口10,000円以上、何口でも ※会員の期間は、4月~翌年3月となります。										
□ 福祉たすけ 基金への寄											
領収書発行	Ţ	※当財団への賛助会費・福祉たすけあい基金への寄付 は寄付控除の対象となります。 □必要 □不要									
お支払い 方法		002	郵便振記号番号	; 370	新横沙 普通	ろうきん 兵支店(334) 1 3603639		□現金書留	口手渡し		
	:	名義∶公	益時団法	去人かなが	わ生き活き	市民基金					





発行:公益財団法人 かながわ生き活き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6 F

Tel: 045-620-9044 Fax: 045-620-9045 Mail: info@lively-citizens-fund.org

URL: http://www.lively-fund.sakura.ne.jp

Facebook: http://www.facebook.com/livelycitizensfund

発行日: 2019年11月1日